

研究室配属説明会資料 (20210115)

地球科学科 (受け入れ可能人数: 計 31 名)

教員名	人数	課題研究のテーマ・内容など	注意事項及び 超過時の選抜方法
中村 大輔	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ボヘミア山塊の超高温-超高压変成岩の岩石学的研究 ・中国山東半島の超高压変成岩の岩石学的研究 ・四国・三波川帯の高压変成岩の岩石学的研究 など 	関連授業の成績と面接による。
野坂 俊夫	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 海洋下部地殻の岩石学的研究 2. 上部マントルかんらん岩の岩石学的研究 3. 考古学資料の岩石学的研究 (具体的な研究テーマは配属後に本人と相談して決める)	岩石学関係の授業の成績と面接
山川 純次	4	<ol style="list-style-type: none"> 1. 岡山県南部における PM2.5 の時空間変動特性に関する研究 2. フィンランド湾表層におけるクロロフィル分布変動に関する研究 3. ab initio 法による造岩鉱物の電子構造と物性の関連性の研究 	鉱物結晶学と情報地質学と構造地質学巡検の成績および面接を参考に参考にする。
竹中 博士	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地震観測・地盤調査に係る研究 (微動観測等) 2. 波形データ解析に係る研究 (震源過程、地下構造解析、信号処理等) 3. 数値シミュレーションに係る研究 (地震波動・津波等、計算手法・応用) (具体的な研究テーマは配属後に本人と相談して決める。)	履修した数学, 物理学, 大気科学及び地球物理学関係授業の成績による。
浦川 啓	2	マグマなどの液体や非晶質物質の構造に関する研究 地球深部における炭素・窒素などの軽元素循環に関する実験的研究 高压下における鉄合金と珪酸塩の相平衡に関する実験的研究 具体的なテーマは配属後相談して決める	面接による。 希望者は事前に相談に来ること。
寺崎 英紀	3	水星や火星などの地球型惑星の内部構造とその進化に関する実験的研究 地球型惑星や衛星の内部分化に関する実験的研究 高温高压下でのメルトや鉱物の密度・弾性波速度・界面張力等の測定法の開発 (具体的な研究テーマは配属後に相談して決める)	面接と成績による。希望者は事前に面談に来てください。
隈元 崇	3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活断層データを用いた地震危険度評価の研究 2. 地震活動データを用いた地震危険度評価の研究 3. デジタル標高モデルを用いた地形変化シミュレーションの研究 	地形学概説, 変動地形学, 地球統計学, 地震危険度評価論, 測量地理情報学実習の成績
山下 勝行	2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球外物質を用いた宇宙化学研究 (同位体宇宙・地球化学研究に応用可能な新しい分析手法の開発を含む) 2. 微量元素・同位体を使った地球・環境科学研究 3. 地球化学的手法を用いた地球史解析 	地球化学関係の授業の成績と面接による。 <u>希望者は必ず事前に相談に来ること。</u>
井上 麻夕里	3	<ol style="list-style-type: none"> 1. サンゴや海底堆積物試料を用いた古気候・古環境復元に関する研究 2. 炭酸塩生物の生物鉱化作用 (バイオミネラライゼーション)に関する研究 具体的な研究テーマは配属後に本人と相談して決める。	面接と成績による。 希望者は必ず事前にメールか直接相談すること。
野沢 徹	5*	気象・気候システムの形成・維持過程や変動機構の解明に関する研究 <ol style="list-style-type: none"> 1. 直接・遠隔観測データや客観解析データを用いた解析的研究 2. 気象・気候モデルを用いた理論的・数値実験的研究 (具体的な研究テーマは配属後に相談して決定する)	大気科学関連の講義・実験の履修状況・成績と面接 (希望者は必ず事前に相談に来ること)。
道端 拓朗		エアロゾル・雲・降水の素過程と気候変動に関する研究 <ol style="list-style-type: none"> 1. 人工衛星観測データを用いた解析的研究 2. 数値気候モデルの物理過程の改良および数値実験的研究 (具体的な研究テーマは配属後に相談して決定する)	面接 (希望者は事前に必ずメールで連絡してください) michibata@riam.kyushu-u.ac.jp
はしもと じょーじ	3	地球を含む惑星の現在と過去と未来に関する研究 <ol style="list-style-type: none"> 1. 探査機・地上望遠鏡を用いた太陽系天体の観測的研究 2. 気候モデル(大気大循環モデルを含む)を用いた惑星気候システムの研究 3. 惑星探査を想定した気象測器の開発と大気現象の観測 (具体的なテーマは配属後に相談して決める)	面接 (希望者は必ず事前に相談に来ること)

* グループとして5名まで受け入れ